国立大学法人用）

２０１９年度「学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解（心のバリアフリー）の推進事業」成果報告書

| 団体名 | 国立大学法人愛知教育大学 |
|---|---|

## Ⅰ　概要

### １　選択したテーマ

| テーマ | 取組項目 | 選択 |
|---|---|---|
| ①交流及び共同学習を継続的な取組とするために，教育課程への位置付け等，組織的かつ計画的な取組の在り方に関する研究 | （ア）通常の学級に在籍する全ての児童生徒等に交流及び共同学習の機会を学校として計画的に実施するための方法に関する研究 | ○ |
| | （イ）障害のある児童生徒及び障害のない児童生徒等が，交流及び共同学習を通じ，共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むために，交流及び共同学習のねらい，事前学習と事後学習，年間指導計画への位置付けの効果的な工夫に関する研究 | ○ |
| | （ウ）通常の学級の担任などの教職員が主体的に交流及び共同学習に取り組むための体制整備の在り方及び教職員の意識向上に関する研究 | ○ |
| | （エ）ＩＣＴを活用した交流及び共同学習に関する研究 | |
| ②学校間交流や居住地校交流等を進めるための関係する教育委員会との連携の在り方の研究 | （ア）特別支援学級が設置されていない小・中学校における学校間交流を推進するための学校と教育委員会の連携の在り方に関する研究 | |
| | （イ）高等学校おける学校間交流や居住地校交流を進めるための学校と教育委員会の連携の在り方に関する研究 | |
| | （ウ）学校間交流や居住地校交流等を進めるための市町村教育委員会と都道府県教育委員会又は市町村教育委員会と市町村教育委員会の連携に関する研究 | |
| | （エ）居住地域の小・中学校等に副次的な籍を置くなど，居住地域との結びつきを強める工夫に関する研究 | |
| ③障害のある大人の人との交流や地域における高齢者等の世代を超えた交流の在り方に関する研究 | （ア）障害のある大人の人との交流に当たり，福祉部局や社会福祉法人等と連携したネットワーク形成に関する研究 | |
| | （イ）教育委員会と地域の関係者による「心のバリアフリー連絡協議会（仮称）」を設置し，取組状況や実施体制などの成果と課題について協議するなど，地域に心のバリアフリーの意識を啓発し根付かせるための研究 | |
| | （イ）高等学校の生徒や特別支援学校の高等部の生徒が，継続的に地域の障害のある大人の人との交流をするための方策に関する研究 | |

## ２　事業概要

１　モデル地域の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 愛知教育大学附属岡崎小学校 | 児　童　数 | 591 名 | 教職員数 27 名 |
| 愛知教育大学附属岡崎中学校 | 生　徒　数 | 444 名 | 教職員数 27 名 |
| 愛知教育大学附属特別支援学校 | 児童生徒数 | 60 名 | 教職員数 34 名 |
| 岡崎市立愛宕小学校 | 児　童　数 | 185 名 | 教職員数 14 名 |

２　事業の目的

・障害のある児童生徒とない児童生徒が，共に創作活動をする方法を追究する児童生徒の育成

・実践の結果を地域に示し，地域の障害者理解の取組として発展させること

３　事業の目標

・低い年令段階から体験的に障害に対する理解を深める。

４　事業の内容

・障害のある児童生徒とない児童生徒が文化・芸術を通した交流を行うことにより，体験的に障害に対する理解を深め，共に尊重し合いながら協働して生活できるように交流，及び協働学習を設定し，実践を行う。

・文化・芸術を通した交流について児童生徒の取り組んだ経過を分析して提示する。

・「文化・芸術を通した交流実践」の効果について分析し，地域へ提言する。

## ３　事業の成果

１　音楽教育を通しての共生教育の在り方

附属特別支援学校（全校），附属岡崎小学校（３年２学級），附属岡崎中学校（３年Ｃ組），愛宕小学校（５年１学級）での音楽を通した交流

（１）目標

・楽器を演奏したり，歌を歌ったりすることを通して，附属岡崎小学校，附属岡崎中学校，附属特別支援学校，愛宕小学校の児童生徒の交流を図り，相互の人格と個性を尊重し支え合い，人々の多様な在り方を相互に認め合える心を育てる。

（２）活動内容

・附属岡崎小学校，附属岡崎中学校，附属特別支援学校，愛宕小学校の四校が連携して楽器を演奏したり，歌を歌ったりする。

（３）取組や実施の工夫

・附属特別支援学校の児童生徒の発達段階の観点から，附属岡崎小学校と附属特別支援学校の中学部，附属岡崎中学校と附属特別支援学校の高等部，愛宕小学校と附属特別支援学校の小学部という組合せで交流活動を実施した。

① 附属岡崎小学校（３年２学級）と附属特別支援学校（中学部）との交流では，附属特別支援学級の生徒を附属岡崎小学校に招き，音楽交流を行った。【６月 28 日】

・導入では「幸せなら手をたたこう」の曲に合わせてハイタッチやあいさつをする活動を行い，児童生徒同士が自然にふれ合えるようにした。

・「パプリカ」では，グループに分かれて一緒に歌ったり，振り付けをしたりした。

・事前に各校で練習を行ってきた「切手のないおくりもの」では，附属岡崎小学校の児童の演奏を聴いたり，演奏に合わせて附属特別支援学校の生徒が歌ったりした。

② 附属岡崎中学校（３年Ｃ組）と附属特別支援学校（高等部）との交流では，互いに各校へ出向き，音楽交流を行った。【10 月 10 日・10 月 16 日・10 月 28 日】

・音楽交流Ｉでは，附属岡崎中学校の生徒が附属特別支援学校を訪れ，交流を行った。附属特別支援学校のハンドベルの合奏を聴いたり，一緒に歌を歌ったりした。最後

は，それぞれ事前に練習を行ってきた「ビリーブ」を共に合唱した。

・音楽交流Ⅰの後，附属岡崎中学校の生徒が附属特別支援学校の生徒とよりよい交流をするにはどうすべきかという問題意識をもち，附属特別支援学校の教諭を招き，勉強会を設けた。

・音楽交流Ⅱでは，附属特別支援学校の生徒が附属岡崎中学校を訪れ，２回目の交流を行った。前回の学びを生かし，一人一人が様々な楽器をもち，数曲の演奏を行った。

③ 愛宕小学校（５年１学級）と附属特別支援学校（小学部）との交流では，愛宕小学校の児童が附属特別支援学校を訪れ，音楽交流を行った。【11 月 25 日】

・導入では，「パプリカ」の曲に合わせて踊ったり，歌ったりできるようにした。

・ハンドベルやタンバリン，鈴などの楽器から自分の好きな楽器を選び，音を出したり，グループになって同じ音を出したりした。

・曲に合わせて一緒に太鼓をたたくなど，打楽器の演奏を通してふれ合った。

④ 児童生徒の交流に加え，適宜，各学校の教職員の障害理解を深めるため，勉強会を実施したり，授業や給食での交流を行ったりした。【通年】

（４）成果

〇附属岡崎小学校

・「また交流したい」と感想に綴るなど，特別支援学校の生徒に対する理解を深めるとともに，音楽を通して関わるよさに気付く姿が見られた。

・小学校３年生ということもあり，互いに対等な立場で交流することができた。特別支援学校の生徒が演奏を聴いて楽しんでいる姿を間近で見たことで，達成感を味わうことができた。

〇附属岡崎中学校

・継続した関わりをもつことで，生徒は障害とは何かについての認識を深めながら，相手とどのように関わっていくべきか考えることができた。また，言葉だけではなく，音楽を通して相手の心を通わせることのよさを味わう姿が見られた。

〇附属特別支援学校

・各学年の発達段階に応じた学校との交流をしたことで，各学年の特性に合った活動を行うことができた。そのため児童・生徒が無理のない活動に取り組むことができ，自身のやっていることを理解し，楽しんで取り組む姿が見られた。

〇岡崎市立愛宕小学校

・「附属特別支援学校の子が楽しんでいたので，私もものすごく楽しめました」と，楽器の演奏を通して，障害の有無にかかわらず，一緒に楽しめたことに価値を感じている姿が見られた。

・事前に交流活動について，学級で話し合いの時間を設けたことで，よりよい音楽交流にしたいという思いを共有することができた。音楽活動の交流の練習だけではなく，自己紹介の練習や，プレゼントの作成など，交流会に向けて意欲的に取り組む姿が見られた。

## ４　事業の課題とその解決のために必要な取組

・各校主幹教諭を中心にして日程について連絡調整を行った。実践に関しては，実務者レベルである教諭同士が連絡を取り合いながら，ねらいを明確にした交流を行った。さらに，実践にあたって，打合せや細かな日程の調整に加え，相互の児童生徒理解についての確認を行ったことで，例年と比較し，ねらいに合った教師支援を行うことができた。

・交流及び共同学習を行った学級では，障害のある児童生徒への意識の変容があったと言える。さらに，単発で交流を行った学級よりも，継続して交流を続けた学級の方がさらに相互理解を深めることができた。今後，継続的な交流に取り組めるように，活動計画を修正していきたい。

・日程調整を行った主幹教諭や実務者レベルで実践を行った教諭には，心のバリアフリー教育を持続，発展させる意義を感じることができていた。今後，全教職員や多くの児童生徒がかかわれるような実践を展開し，心のバリアフリー教育の充実を図っていきたい。

・全ての児童生徒に交流，共同学習の場をもつことができなかったため，交流学級を増やしたり，交流をした学級が，その気付いたよさや学んだことを発信できる場面を設定したりしたい。